



## 平成30年度消防職員コースのご案内

平成29年6月末の在留外国人数は240万人を超え、過去最高となりました。また、住民の1割以上が外国人という集住地域もあります。さらには、平成29年は、初めて訪日外国人旅行者数が2,600万人を超え、消防職員が外国人と接する機会も年々増えてきています。

この研修は、消防職員を対象に、非常時において、外国人の救援救助活動に迅速・的確に対応できるよう、外国人とのコミュニケーション能力の向上を図るとともに、そのために必要な知識や方法を学ぶことを目的に開催します。

受講を希望される場合は、平成30年2月13日(火)までに「平成30年度JAM年間派遣計画書」をFAXによりお送りください。申込手続きの詳細は、「平成30年度研修計画」をご参照ください。

### 消防職員コース～非常時における外国人とのコミュニケーション～

|          |  |
|----------|--|
| (日程)     | 平成30年5月16日(水)～6月1日(金) 17日間   |
| (内容(予定)) | <ul style="list-style-type: none"><li>・語学研修(共通:英語、選択:中国語又はポルトガル語)</li><li>・外国人とのコミュニケーション</li><li>・やさしい日本語</li><li>・自治体の危機管理</li><li>・非常時に備えた地域コミュニティとの関わり方</li><li>・自治体の事例紹介(外国人への情報提供等)</li><li>・住民に伝える技術</li><li>・施策立案演習 など</li></ul> |
| (対象)     | 消防職員(自治体の防災担当職員含む)   |
| (受講経費)   | 概ね70,000円  |
| (予定人数)   | 30名  |



グループワークの様子

#### ■ コースの特長

- 語学授業については、受講者の語学レベルに応じた少人数のクラス編成を行いますので、安心して学ぶことができます。
- ロールプレイを取り入れて、けがをした外国人に英語で様子を確認するなど、実際の状況を想定して再現することにより、生きた英語、使える英語が体得できます。
- 第二外国語として、中国語とポルトガル語の2言語から、地域の事情に即した言語を選択し、それぞれの言語の基礎を学びます。
- 講義や演習等を通して、全国各地の消防職員と意見交換をしながら、議論を深めることができます。
- JICA(国際協力機構)からの研修生を受け入れる際にも、このコースの修了者が活躍されています。

#### ■ 参加者の声

- とても充実した日々で、勉強になりました。
- 受講者同士の情報交換、ネットワークの形成ができ大変有意義な研修でした。
- 3週間の研修で学んだことを自身の力とし、さらにアレンジ、次へつなげてゆきます。

【問い合わせ先】(公財)全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号(<http://www.jiam.jp>) 電話(077)578-5932 FAX(077)578-5906